

## チャレンジ！！オープンガバナンス 2017 市民／学生応募用紙

地域課題タイトル (注1)	No. - (事務局用)	タイトル 室蘭に新たな観光客を呼び込むためのアイデア	自治体名 室蘭市
アイデア名 (注1) (公開)	VR 忍者列車		

(注1) 地域課題タイトルは、COG2017 サイトの中に記載してある応募自治体の地域課題名を記入してください。

(注2) アイデア名は各チームで独自にアイデアにふさわしい名前を付けてください。

### 1. 応募者情報

チーム名 (公開)	VR 列車チーム		
チーム属性 (公開)	<input type="checkbox"/> 1. 市民によるチーム	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 学生によるチーム	<input type="checkbox"/> 3. 市民、学生の混成によるチーム
メンバー数 (公開)	4 名		
代表者情報	氏名 (公開)	堀 祐太	

**(注意書き) ※ 必ず応募前にご一読ください。**

<応募の際のファイル名と送付先>

1. 応募の際は、ファイル名を COG2017\_応募用紙\_具体的チーム名\_該当自治体名にして、以下まで送付してください。東京大学公共政策大学院の COG2017 サイトにある応募受付欄からもアクセスできます。 admin\_padit\_cog2017@pp.u-tokyo.ac.jp

<応募内容の公開>

2. アイデア名、チーム名、チーム属性、チームメンバー数、代表者氏名、「アイデアの説明」は公開されます。
3. 公開条件について：  
「アイデアの説明」でご記入いただく内容は、クリエイティブ・コモンズの CC BY (表示) 4.0 国際ライセンスで、公開します。ただし、申請者からの要請がある場合には、CC BY-NC (表示—非営利) 4.0 国際ライセンスで公開しますので、申請の際にその旨をお知らせください。いずれの場合もクレジットの付与対象は応募したチームの名称とします。  
(具体的なライセンスの条件につきましては、<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/legalcode.ja>、および、<https://creativecommons.org/licenses/by-nc/4.0/legalcode.ja> をご参照ください。また、クリエイティブ・コモンズの解説もあります。<https://creativecommons.jp/licenses/>)
4. 上記の公開は、内容を確認した上で行います。(例えば公序良俗に違反するもの、剽窃があるものなどは公表いたしません)
5. この応募内容のうち、「審査項目自己評価」は、非公開です。なお、内容に優れ今後の参考になりうると判断したものは、公開審査後アドバイスの段階で相談の上公開することがあります。

<知的所有権等の取扱い>

6. 「アイデアの説明」中に、応募したチームで作成・撮影したものではない文章、写真、図画等を使用する場合、その知的所有権を侵害していないことを確認してください。具体的には、法令に従った引用をするか、や知的所有権者の許諾を取得し、その旨を注として記載してください。「審査項目自己評価」中も同様をお願いします。
7. 「アイデアの説明」中に、人が写りこんでいる写真を使用している場合、使用している写真に写りこんでいる人の肖像権またはプライバシーを侵害していないことを確認してください。

<チームメンバー名簿>

チームメンバーに関する情報を最終ページに記載して提出してください。(2. の扱いによる代表者氏名を除き、他のメンバーに関する情報は本人の同意があるものを除き COG 事務局からは非公開です。詳細は最終ページをご覧ください。)

## 2. アイデアの説明（公開）

（1）アイデアの内容、（2）アイデアの論拠、（3）実現までの流れ、の三項目に分けて記入してください。

### （1）アイデアの内容（公開）

アイデアは、だれが、何を、どこで、いつ、どのように、する公共サービス（活動）なのか、これらの要素を入れて**内容そのもの**をわかりやすく示してください。**1 ページ以内**でご記入ください。（必要に応じて図表を入れても構いません）

登別温泉、登別伊達時代村を観光するために登別にきた外国人をターゲットとして、そのターゲットに登別以外の胆振地方への興味を持ってもらうためのツアー列車であり、「VR」と「忍者」をコンセプトとしている。平日に登別～洞爺、洞爺湖間を運行する。登別を出発地点とすることで、登別温泉で一泊した外国人が登別を拠点として気軽にこのツアーに参加できるようにした。室蘭東、伊達紋別、洞爺で停車して降りてもらってミッションを達成してもらう。ミッションは見学、体験をしてもらうものであり、例えば伊達紋別駅のミッションは伊達歴史の杜で藍染体験をしてもらうことである。このミッションを全て達成した時は胆振地方の文化をよく知ってもらえるアイテムをツアー客が獲得する。VR ヘッドセットを搭載した車両で移動し、移動中は VR を着用してもらい、ミッション内容はその時に知らされる。また、VR の内容はミッション内容の通知以外にもストーリーをつける。ストーリーは自分が江戸時代にタイムスリップしてしまい、忍者として活動して与えられた任務を達成するといったものである。

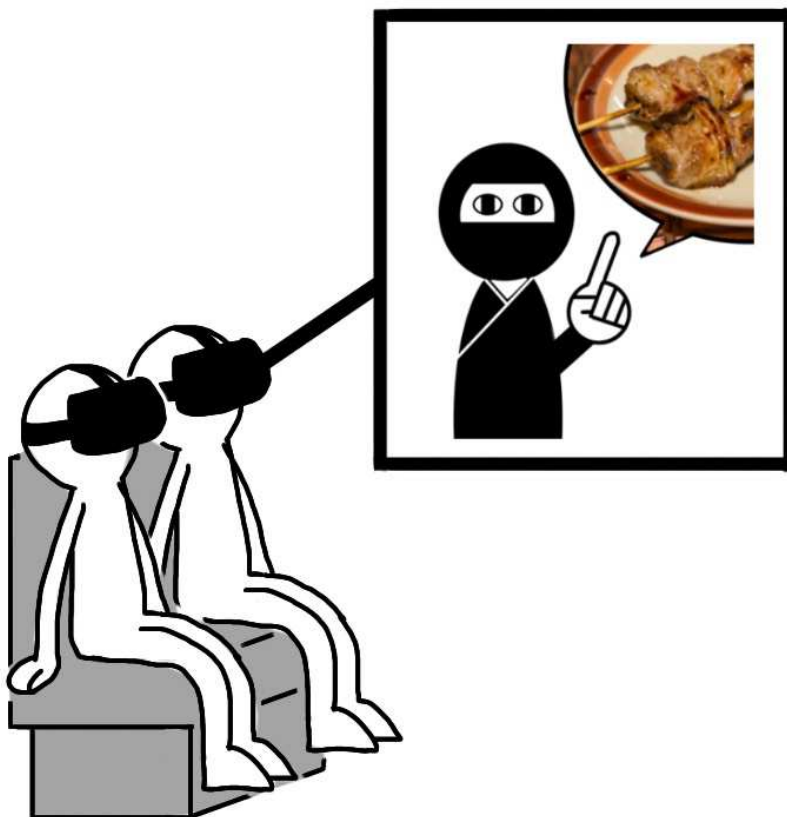


図 1 列車で移動中の時の図

## (2) アイデアの論拠（公開）

アイデアの論拠（なぜこのアイデアなのかの理由付け）について、それをサポートするデータ（統計類の数値データやアンケート・インタビューなどの定性データ）や証拠（資料や計画、既存の施策など）（以下：総称して「データ類」といいます）などを含めつつ、**2 ページ以内**でご記入ください。データ類は出所を明らかにしてください。

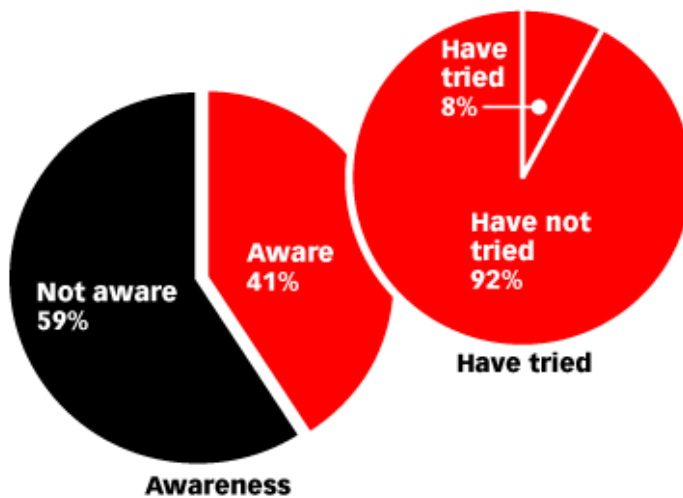
まず、今回の提案内容のコンセプトを外国人の認知度や人気が高い「VR」と「忍者」としたのは、外国人の認知度や人気が高いものを用いることで、客引きをしようとしたからである。

VR はフランス、ドイツ、イギリス、アメリカでの認知度は 40% でありながら、体験したことがある人は 8% ほどとかなり少ない。なので、VR が体験できるという点で外国人の興味を引くことができると考えた。また、列車の移動中に VR を用いることに関してだが、登別～洞爺区間は短めのトンネルが多く、乗客全員が車窓を眺めて楽しむことができないと実際に乗ってみて思ったので、VR を用いたら乗客を楽しませることができるのではないかと考えた。

忍者は外国人の認知度がほぼ 100% と高く人気もあり、忍者になりたいという外国人も半数を占めているので、疑似的だが体験できるという点でも客引きできると思った。

### Awareness and Usage of Virtual Reality Among Internet Users in Western Europe\* and the US, Oct 2015

% of respondents



Note: ages 16+; \*France, Germany and UK  
Source: Futuresource Consulting, "Virtual Reality - Niche or Mass Market?" as cited in press release, Feb 4, 2016

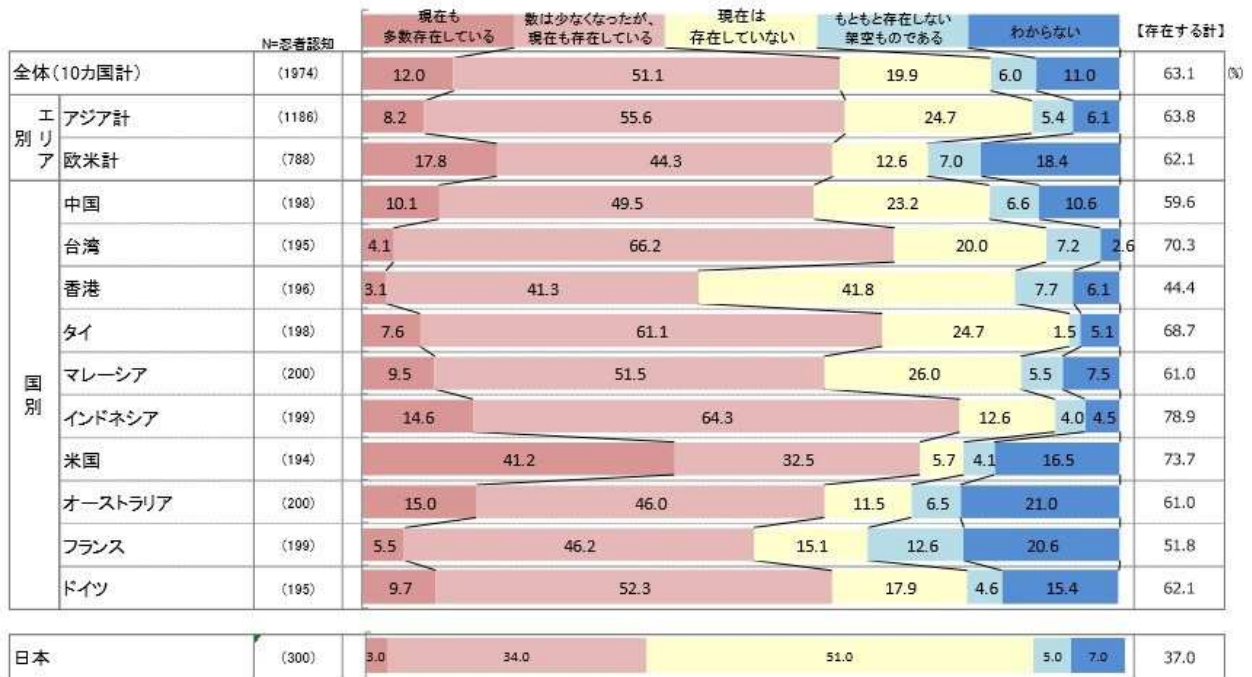
205156

www.eMarketer.com

出典

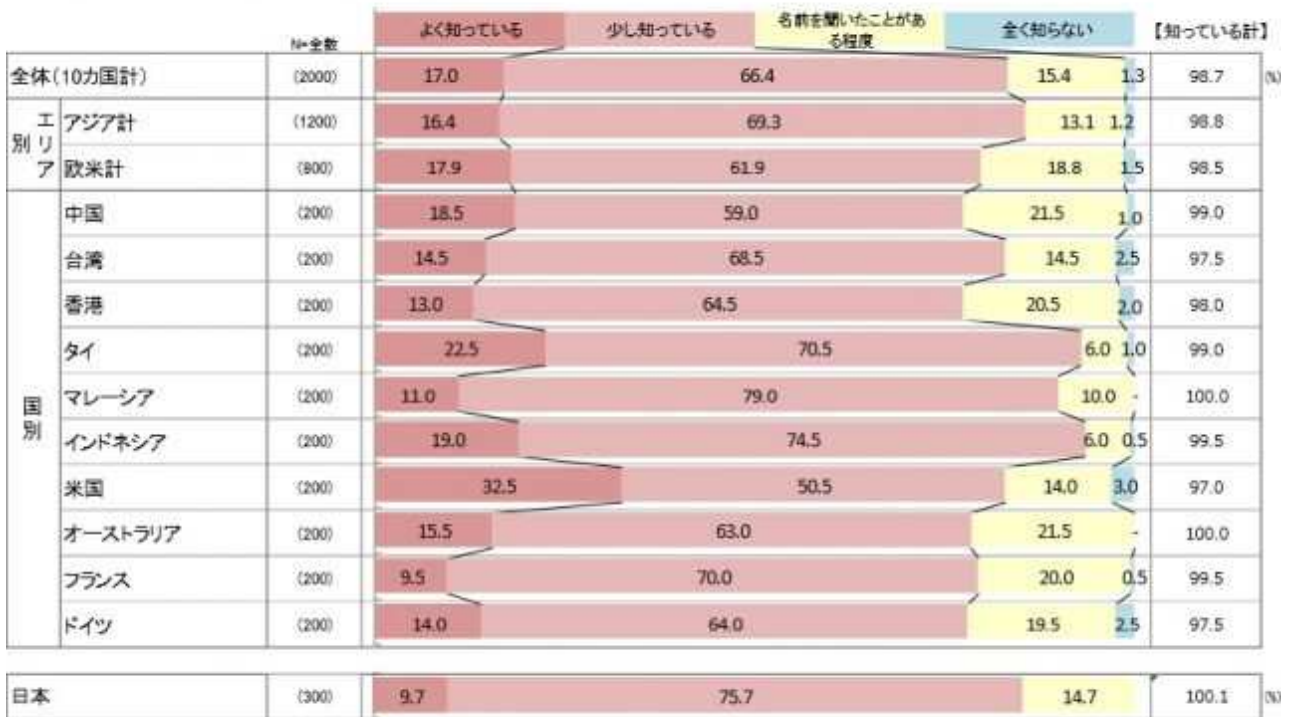
<http://www.emarketer.com/Chart/Awareness-Usage-of-Virtual-Reality-Among-Internet-Users-Western-Europe-US-Oct-2015-of-respondents/186230>

【グラフ2】あなたは「忍者」についてどのように思いますか



※構成比 (%) は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100にならない場合があります。

【グラフ1】あなたは「忍者」をご存知ですか



※構成比 (%) は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100にならない場合があります。

出典

<https://internetcom.jp/202426/ninja-survey>

### (3) アイデア実現までの流れ（公開）

アイデアを**実現する主体**、アイデアの**実現に必要な資源（ヒト、モノ、カネ）**の大きな規模とその現実的な調達方法（制約がある場合にはその解決策を含む）、アイデアの**実現にいたるプロセスとマイルストーン**等、アイデア実現までの大きな流れについて、**2 ページ以内**でご記入ください。（必要に応じて図表を入れても構いません）

アイデアを実現する主体：J R（企業連携）

アイデアの実現に必要な資源：

- ・V Rヘッドセット（3000 円×（1 両分の座席数））、J Rが購入
- ・V Rの映像制作 155,000 円～、J Rが企業に依頼
- ・広告費 100,000 円～、J Rが出資+クラウドファンディング+観光地の出資
- ・プロジェクトチームの人件費（給与）、利益からJ Rが出資+クラウドファンディング+観光地の出資 不明

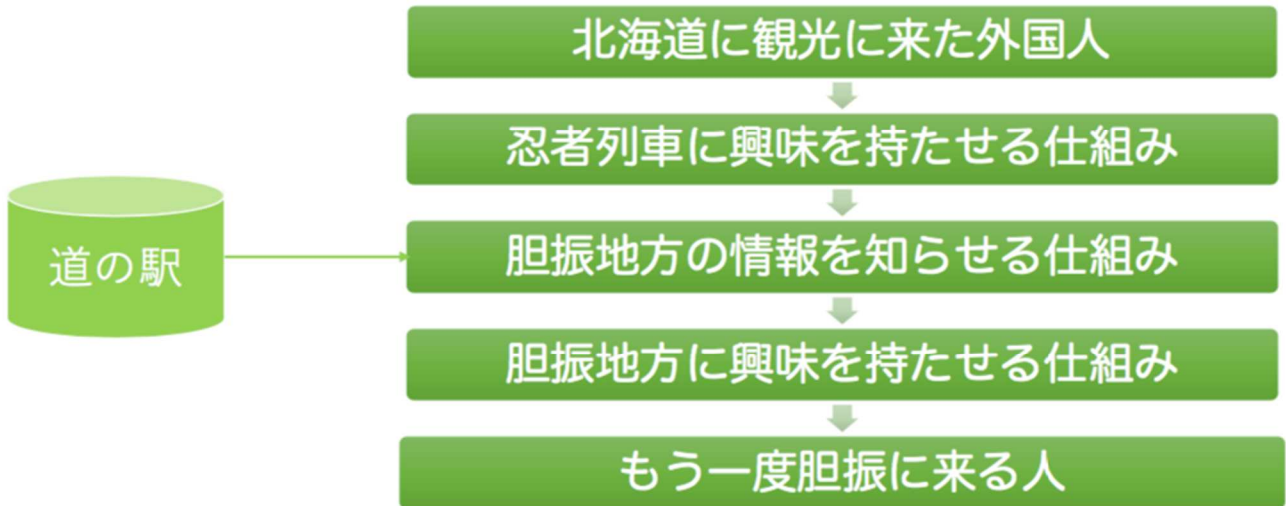


図 コンポーネント図

アイデア実現までの大きな流れ：

